

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成 26 年度第 1 回高松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
開催日時	平成 27 年 3 月 3 日（火） 15 時 00 分～15 時 40 分
開催場所	高松市役所 11 階 114 会議室
議 題	子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の認可について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	加野会長、岡委員、樽谷委員、佃委員、永澤委員、三木委員、森山委員 計 7 人
傍 聴 者	4 人
担当課および連絡先	こども園運営課 839-2358

審議経過および審議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

- (1) 子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の認可について
地域型保育事業の認可について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(会長)

カナン空港こども園について、申請書類によれば、3号認定の0歳児定員が6人、1・2歳児定員が12人となっている。資料1の8ページで南部地区の需給バランスについてみると、0歳児は不足するのが1人になっている。認可にあたっての考え方について教えてほしい。

(事務局)

資料1の8ページの下側の青い表の差(②-①)に記載している数値は、27年度の確保方策を実施後の年度末における供給量の過不足の状況を示しており、事業等の認可をすることにより増加する供給量について、すでに盛り込んだ数値となっている。3号認定の0歳児が△1人、1・2歳児が△12人と赤字で記載している欄の2段上に、特定地域型保育事業の欄があり、3号認定の0歳児6人、1・2歳児12人と記載している。これが、27年度に整備予定の小規模保育事業によって確保される人数となっている。

(会長)

資料1については、今回申請のあった3件が認可されたものとして織り込み済みで資料を作成しているので、カナン空港こども園が認可されたとしても、まだ不足が生じているということでしょうか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

27年度については、これまで開催された子ども・子育て支援会議の内容からも、需要と供給のバランスが取れていないことは了解しており、特に意見はない。ただし、来年度以降は、1年ごとに需給バランスの状況を踏まえた上で、認可等の検討を行っていただきたい。

(会長)

今回の3件については、特に意見も無いようなので、この議題については、問題はないという結論でよいと思う。

(事務局)

今回御審議いただいた3件については、需要と供給のバランス上、供給が足りていないということで、これを確保していくが、先ほど委員からも意見があったように、今年度については御審議・御意見をいただく内容が少なかったと思う。今後の会議では、各年度の需給バランスがどうなるかということ踏まえて、皆さんの御意見をいただくようにしたい。

(2) その他

本日の会とは直接関係ないが、最近、本市の交通事故が多発していることから、交通安全に関するお知らせをした。

その後、委員から次のような意見があった。

(委員)

本日の資料において、28年度の確保方策として、小規模保育事業が8か所となっているが、これはすべてA型という意味か、それともB型やC型もこの中に含まれているのか。

(事務局)

小規模保育事業についてであるが、A型であれば全ての職員が保育士である必要がある。B型になると、基準を少し下げて、全員が保育士でなくてもよく、その他の職員に対して研修は行うが、保育士の資格までは問わないということになっている。

本市としては、基本的には、認可を受けた施設で教育・保育を確保するとともに、既存の施設を優先して確保に努めたいと考えている。本市において少子化対策にも取り組んでいるが、なかなか改善されていないのが現状なので、この点を踏まえ、過剰整備にならないように、既存の施設を有効に活用していきたい。既存の施設に認可外保育施設があり、認可外保育施設についても待機児童の受け皿となっている。将来的には、基準を上げる努力をしていただきたいと思うが、既存の施設が望まれる場合は、基準を満たしていれば認可をしていく形で対応していきたいと考えている。

その他、委員から特に意見はなく、以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以上